

# 静岡県教育振興基本計画

2018年度～2021年度

～“ふじのくに”に根ざした教育の推進～



静岡県・静岡県教育委員会

## 2 「技芸を磨く実学」の奨励

一人一人の能力や適性、意欲に応じた多様で柔軟な教育をより一層展開するため、農林水産業、工業、商業、芸術、スポーツ等の様々な分野において自らの才能を伸ばす実践的な学問としての「技芸を磨く実学」を推進するとともに、郷土を担う子供たちの「生きる道」<sup>12</sup>としての仕事を学ぶ環境づくりに努めます。

また、専門的職業人として社会の変化に柔軟に対応し、地域産業の発展に貢献できる人材の育成を図ります。

### (1) 産業社会の担い手の育成

#### ■本県における現状と課題

- ・本県の2017年3月現在の中学校・高等学校卒業者の就職率はいずれも全国平均を上回っており、児童生徒一人一人の社会的・職業的自立に向け、その基盤となる能力や態度を育む教育を義務教育段階から一層充実することが求められています。
- ・また、児童生徒の発達段階に応じ、働くことへの意欲や関心を高めたり、勤労の尊さを学んだりするなどの望ましい勤労観・職業観を育成するための取組を推進するとともに、ものづくりに触れる機会の創出や幅広いニーズに応える職業訓練の充実等が必要になっています。

#### ■目標指標

指標名	現状値	目標値
児童生徒に望ましい勤労観・職業観を育む教育を実施した学校の割合	小 89.7%	100%
	中 98.8%	
	高 92.8%	
	特 100%	

#### ■施策の内容

ア 地域の特色やライフステージに応じ、学校・地域・企業・研究機関等が連携した、望ましい勤労観・職業観を育む教育や職業に関する知識・技能を身に付けるための職業教育等の推進を図ります。

##### 主な取組

- ふじのくに実学チャレンジフェスタ<sup>13</sup>の開催
- 専門学科等のある高等学校の職業教育への理解推進
- 高校生海外インターンシップの推進

<sup>12</sup> 「武士道」「商人道」と言われるように、富士山のような高い志を持ち、社会に対し責任を果たして貢献する生き方です。

<sup>13</sup> 専門高校等による学習成果発表、研究発表等の祭典です。県内1地区において、農業、水産、工業、商業、家庭、福祉、芸術の7分野で実施します。

- 職場見学・職場体験等の促進
  - 「生きる道」としての仕事を学ぶため、「技芸を磨く実学」の大切さを知る体験、プロフェッショナルな職業や郷土の産業の魅力に触れる機会の提供
  - 地域や産業界との連携強化の促進
  - 高等学校におけるジョブ・サポート・ティーチャーの配置
  - キャリア教育に係る実践的な研修の実施
  - こころざし育成セミナー<sup>14</sup>の実施
  - 各技術研究所の見学や体験等を通じた地域産業に関する学習の支援、研修の実施
  - ふじのくに茶の都ミュージアムでの茶に関する情報発信及び体験メニューの充実
  - 林業体験会や就業ガイダンスの開催
  - 環境学習講座への職員の派遣
  - 小・中・高・大学への講師派遣による出前講座や富士山世界遺産センターでの教育旅行の受入れ等による世界遺産富士山の歴史、文化、自然等の紹介
- [担当：環境政策課、富士山世界遺産課、地域医療課、研究開発課、労働政策課、お茶振興課、林業振興課、建設業課、義務教育課、高校教育課、特別支援教育課、総合教育センター]

イ ものづくりの楽しさや技能の大切さへの理解促進を図るとともに、ライフステージに応じてものづくりや技能に触れる機会を提供します。

#### 主な取組

- WAZAチャレンジ教室<sup>15</sup>の実施
  - ふじのくに実学チャレンジフェスタの開催（再掲）
  - 高校生ものづくりコンテストの開催に向けた支援
  - 新たな施設・設備の充実を通じた実学の高度化
  - 技能マイスター<sup>16</sup>の活用
- [担当：職業能力開発課、高校教育課]

ウ 多様な年齢層や障害の有無・状況等に応じたスキルを身に付けさせるため、幅広いニーズに応える職業訓練の充実や情報提供を図ります。

#### 主な取組

- 誰もがいきいきと働ける環境づくり
  - 個々の適性や就業希望に応じた多様な職業訓練の実施
  - しずおかジョブステーションの運営と学生の職業意識の醸成
  - 障害のある人に向けた就労相談員の配置と職場定着の支援
  - 障害のある人の相談支援体制の充実や就労支援
- [担当：障害者政策課、労働政策課、雇用推進課、職業能力開発課、特別支援教育課]

<sup>14</sup> 本県の医療を支える人材育成のために、病院で医師から話を聞いたり、体験的な活動を行ったりする事業です。

<sup>15</sup> ものづくりの楽しさや大切さへの理解促進を図るため、小・中学校に技能士を派遣して、実際のものづくりを体験する事業です。

<sup>16</sup> 優れた技能を有し、後進の指導・育成に尽力している現役の技能者を「静岡県技能マイスター」として認定しています。

エ 実践的な職業教育を行う高等教育機関の設置や、新たな成長戦略のための産学官連携による中小企業の人材育成等により、県内産業を支える人材を育成します。

### 主な取組

- 農林大学校の専門職大学への移行による農林業人材の育成
- 青年等の新規就農の促進
- 漁業高等学園における漁業就業者の育成
- 建設業の経営者や技能者を対象とする研修の実施
- 富士山麓医用機器開発エンジニア養成プログラムの開催支援
- レーザーによるものづくり中核人材育成講座の開催支援
- 総合食品学講座の開催支援
- 職業能力開発短期大学校の設置による現場力のある高度な技術人材の育成
- 経験年数に応じた技術習得や低コスト生産システム普及に向けた研修開催
- 企業等と連携した在職者訓練の実施

〔担当：職業能力開発課、新産業集積課、農業ビジネス課、林業振興課、水産振興課、建設業課〕

### 事例紹介③「ふじのくに実学チャレンジフェスタ」

「ふじのくに実学チャレンジフェスタ」は、専門学科や総合学科で農業、工業、商業、水産、家庭、福祉、芸術を学ぶ高校生の学習内容や活躍等について、多くの県民に直接アピールする機会を設けることで、実学に対する理解を促進するとともに、地域や産業界と連携・協働し、地域や本県の産業を担う職業人を育成することを目的として、2016年度から実施しています。

2017年度は、アクトシティ浜松展示イベントホールに県立高等学校40校、市立高等学校2校の計42校の生徒約800人が集い、学習成果の発表等を行いました。また、寄せ植え体験、ミニ鉄道模型の乗車体験、食品サンプル作成等の体験コーナーを設けることで、来場者が実学の魅力を肌で感じられるような工夫も行いました。

来場者からは、「こんなにたくさん専門高校があるとは知らなかった。」などの感想が寄せられるとともに、参加生徒からも「体験指導はとても楽しかった。」「他校の学習内容を知ることができ、刺激になった。」などの感想が聞かれました。来場者はもとより、実学を学んでいる生徒にとっても「技芸を磨く実学」の魅力を改めて実感する場となっています。



コンピュータ制御による生産ラインモデルに見入る子供たち

## 1 事業所数(製造業) (平成28年)

静岡県 9,299 事業所  
全国 191,339 事業所  
順位 5位 (全国比 4.9%)

# 第6章

## 静岡県の工業

○事業所数(製造業)の推移(単位:事業所、%)

年	事業所数	前年比
平成24	10,431	▲6.8
25	10,037	▲3.8
26	9,777	▲2.6
27	10,492	7.3
28	9,299	▲11.4

○事業所数(製造業)(全国順位)(単位:事業所、%)

順位	都道府県	事業所数	前年比
1	大阪府	15,990	▲14.8
2	愛知県	15,870	▲9.9
3	埼玉県	10,975	▲13.4
4	東京都	10,789	▲19.8
5	静岡県	9,299	▲11.4
	全国	191,339	▲12.1

(注)・従業者4人以上の事業所について集計。

・平成27、28年は翌年6月1日現在、それ以外は表示年次の12月31日現在の数値。

出典「工業統計調査」経済産業省

「経済センサス-活動調査」総務省、経済産業省

## 2 従業者数(製造業)

(平成28年)

静岡県	398,450人
全国	7,571,369人
順位	3位(全国比5.3%)

○従業者数(製造業)の推移(単位：人、%)

年	従業者数	前年比
平成24	393,687	▲0.7
25	388,877	▲1.2
26	386,924	▲0.5
27	396,406	2.5
28	398,450	0.5

○従業員数(製造業)(全国順位)(単位：人、%)

順位	都道府県	従業者数	前年比
1	愛知県	828,077	0.4
2	大阪府	436,048	▲1.2
3	静岡県	398,450	0.5
4	埼玉県	384,055	▲0.1
5	兵庫県	356,782	2.5
	全国	7,571,369	2.3

(注)・従業者4人以上の事業所について集計。

・平成27、28年は翌年6月1日現在、それ以外は表示年次の12月31日現在の数値。

出典「工業統計調査」経済産業省  
「経済センサス－活動調査」総務省、経済産業省

## 3 製造品出荷額等(製造業)

(平成28年)

静岡県	16兆1,322億円
全国	302兆356億円
順位	3位(全国比5.3%)

○製造品出荷額等(製造業)の推移(単位：億円、%)

年	製造品出荷額等	前年比
平成24	157,077	5.1
25	156,991	▲0.1
26	160,507	2.2
27	163,720	2.0
28	161,322	▲1.5

○製造品出荷額等(製造業)(全国順位)

順位	都道府県	製造品出荷額等	前年比
1	愛知県	449,090	▲2.5
2	神奈川県	162,882	▲6.8
3	静岡県	161,322	▲1.5
4	大阪府	158,197	▲5.2
5	兵庫県	151,054	▲2.2
	全国	3,020,356	▲3.5

(注)・従業者4人以上の事業所について集計。

・平成27年は個人経営調査票による結果を含まない。

出典「工業統計調査」経済産業省  
「経済センサス－活動調査」総務省、経済産業省

#### 4 付加価値額（製造業）

（平成 28 年）

静岡県 5兆6,822億円  
 全国 97兆2,325億円  
 順位 2位（全国比 5.8%）

○付加価値額(製造業)の推移 (単位：億円、%)

年	付加価値額	前年比
平成 24	54,638	4.8
25	55,935	2.4
26	55,262	▲1.2
27	57,848	4.7
28	56,822	▲1.8

○付加価値額(製造業)(全国順位) (単位：億円、%)

順位	都道府県	付加価値額	前年比
1	愛知県	129,753	▲6.6
2	静岡県	56,822	▲1.8
3	大阪府	52,301	0.4
4	神奈川県	48,973	▲1.8
5	兵庫県	48,820	0.2
	全国	972,325	▲0.8

(注)・従業者 4 人以上の事業所について集計。

・従業者 4 ～ 29 人の事業所については粗付加価値額である。

・粗付加価値額 = 製造品出荷額等 - (消費税を除く内国消費税額 + 推計消費税額) - 原材料使用額等

・付加価値額 = 製造品出荷額等 + (製造品年末在庫額 - 製造品年初在庫額) + (半製品及び仕掛品年末価額 - 半製品及び仕掛品年初価額) - (消費税を除く内国消費税額 + 推計消費税額) - 原材料使用額等 - 原価償却額

・平成 27 年は個人経営調査票による調査分を含まない。

出典 「工業統計調査」 経済産業省

「経済センサス-活動調査」 総務省、経済産業省

#### 5 主な製造業

（平成 27 年）

○製造業別年間出荷額等

品目	事業所数 (所)	出荷額等 (百万円)	全国シェア (%)	全国順位
輸送機械	1,186	4,117,630	6.4	2
電気機械	579	1,950,944	11.2	2
化学工業	192	1,669,673	5.8	7
飲料・たばこ・飼料	670	1,124,973	11.0	1
食料品	1,251	1,298,435	4.6	8
パルプ・紙	496	817,744	11.2	1
生産用機械	1,172	817,832	4.6	7
繊維工業	318	104,127	2.6	12
家具・装備品	321	81,842	4.3	9
楽器	83	61,952	70.5	1
プラモデル	17	17,343	94.8	1
遊具・遊人形	33	3,684	22.5	2

(注) 従業者 4 人以上の事業所について集計。

出典 「経済センサス-活動調査 (産業編)」 総務省、経済産業省  
 「経済センサス-活動調査 (品目編)」 総務省、経済産業省

## 6 製造品出荷額日本一の品目

(平成 27 年)

○ 製造品出荷額第 1 位の製造品は 89 品目。このうち、全国シェア 25%以上を占める代表的なものを抜粋した。

品目	製造品出荷額 (百万円)	全国シェア (%)	静岡県内 産出事業所数
ピアノ	17,787	100.0	3
プラスチックモデルキット	17,343	94.8	17
電子楽器	11,980	92.1	7
白熱電灯器具	281,261	83.3	8
楽器の部分品・取付具・ 附属品	15,073	69.0	48
紅茶(仕上茶)	16,259	64.4	16
その他の洋楽器、和楽器	16,932	58.0	21
緑茶(仕上茶)	139,515	55.3	289
紙製衛生材料	6,620	54.9	3
KDセット(二輪自動車)	23,664	54.2	3
パルプ装置・製紙機械の 部分品・取付具・附属品	11,283	49.9	59
色板紙	3,396	49.3	3
製材機械	4,737	49.2	7
その他の製紙機械	9,063	49.0	18
娯楽用具・がん具の部分 品・附属品	4,035	45.3	6
人形の部分品・附属品	2,406	44.3	19
合成皮革	38,899	44.1	5
触媒	145,904	44.0	3

品目	製造品出荷額 (百万円)	全国シェア (%)	静岡県内 産出事業所数
銅裸線	91,734	43.3	5
その他の電子管	31,573	42.9	3
荒茶	32,026	42.8	328
パルプ製造機械、同装置	2,231	42.8	8
マニラボール	21,156	41.7	5
漁網以外の網地	8,182	40.9	8
清掃用品	4,758	39.3	3
エアコンデিশヨナ(ウインド 型、セパレート形を除く)	227,287	39.0	5
太陽熱利用機器	1,151	37.0	3
鉛蓄電池	131,125	37.0	3
その他の紙製衛生用品	142,494	35.6	76
直流・交流小形電動機 (3W以上70W未満)	151,073	34.3	7
白ボール	29,389	32.5	8
ベッド用マットレス、組スプ リング	10,513	32.1	4
超音波応用装置	21,381	32.1	9
おしろい	5,209	31.8	8
その他の板紙	14,890	31.4	7
衛生用紙	59,167	31.0	28
動力伝導装置の部分 品・取付具・附属品	21,796	30.8	7
軽量鉄骨	24,154	30.0	17
その他の運動用具	27,817	29.6	11
木材加工機械	7,374	29.3	12

品目	製造品出荷額 (百万円)	全国シェア (%)	静岡県内 産出事業所数
乾燥機器	7,440	29.1	10
特殊印刷用紙	9,995	28.9	5
アルミニウムはく	16,469	27.8	3
茶系飲料	174,956	27.3	13
その他の端末装置	36,504	27.1	4
その他の紙器	44,151	25.5	24
内燃機関電装品の部分 品・取付具・附属品	319,812	25.1	73
金属製かん具	4,221	25.0	4

(注) 製造品出荷額には、加工賃、修理等は含まない。

各品目の順位は、出荷額が明らかかな都道府県による。

出典 「経済センサスー活動調査」 総務省、経済産業省

## 7 県内の新エネルギー等の導入実績 (平成28年度)

新エネルギー等導入量 105.14 万kl (原油換算)

### ○ 新エネルギー等の導入実績

項 目	平成28年度 (現状)	
	原油換算 (万kl)	設備容量 (万kW)
太陽光発電	37.21	152.01
太陽熱利用	7.08	
風力発電	7.89	17.67
バイオマス 発電	2.89	4.04
エネルギー 熱利用	5.38	
中小水力発電	1.41	1.15
温泉熱発電	0.0004	0.0003
天然ガスコージェネ レーション	43.27	48.98
新エネルギー等 計	105.14	-

(注1) 表中の数値は四捨五入して表示しているため、合計が

一致しない場合がある。

(注2) 高度利用には、燃料電池を含む。

出典 「図表で見るとおカエネルギーデータ」

静岡県エネルギー政策課